

ICRP TG 111 報告書草案の要点解説ウェビナー

国際放射線防護委員会（ICRP）のタスクグループ（TG）111 では、放射線に対するヒトの個人差が健康影響やリスク評価にどのように関わるかについて検討が進められており、その内容をまとめた報告書草案が公表され、現在パブリックコメント（2026年5月1日まで）が募集されています（<https://www.icrp.org/consultation.asp?id=81B70B2F-A66E-4C4D-B6DB-880B8DDAD8AC>）。

本草案では、年齢、性別、遺伝的要因、併存疾患、喫煙、化学療法などの内的・外的因子が、正常組織反応、循環器疾患、白内障、認知機能障害およびがんリスクに影響を及ぼす可能性について整理されており、個人差を考慮した防護の在り方を検討するための重要な科学的基盤が示されています。

日本放射線影響学会（放射線リスク・防護検討委員会）では、TG111委員の講師より、本草案の背景および主要な論点についてご解説いただきます。本ウェビナーを通して草案の全体像および主要な論点を共有し、今後の検討や意見提出の参考となれば幸いです。

【日時】 2026年4月16日（木）15:00～16:30

【開催方法】 オンライン開催（Zoom）

【参加費】 無料

【定員】 200名

【申し込み】 2026年4月9日（木）までに下記のURLよりお申し込みください。

URL：<https://forms.gle/2GLHeWisFd3XrNVQA>

【問い合わせ先】

日本放射線影響学会 放射線リスク・防護検討委員会

恵谷玲央／小嶋光明（大分県立看護科学大学）

E-mail：jrrs.rrp@gmail.com

【プログラム】

座長：小嶋光明（大分県立看護科学大学）

15:00～15:05 開会の挨拶：小嶋光明

15:05～16:05 TG111 報告書草案の要点解説

講師：浜田信行（電力中央研究所）

今岡達彦（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構）

古川恭治（久留米大学）

16:05～16:25 質疑応答

16:25～16:30 閉会の挨拶：田代聡（広島大学）